別紙１　全数把握対象疾患　類型別一覧表

類型	疾患名	届出対象者			届出方法	届出期日	備考欄等入力方法
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者			
一類	エボラ出血熱	○	○	○	NESID	直ちに	【海外渡航歴】※**以下、「海外渡航歴」の記載がある疾患については同内容を入力** ①直近30日以内の海外渡航歴の有無を（「海外渡航歴無」又は「海外渡航歴有」）を入力し、有の場合は国名を追加入力 ②日本国内での滞在期間の区分（「長期滞在」又は「一時滞在」）を入力し、一時滞在の場合は帰国予定日を追加入力 ①については、届出様式に「渡航期間」がある疾患については、当該欄に入力し、備考欄への入力は不要
	クリミア･コンゴ出血熱				NESID	直ちに	海外渡航歴
	痘そう(天然痘)				NESID	直ちに	海外渡航歴
	南米出血熱				NESID	直ちに	海外渡航歴
	ペスト				NESID	直ちに	海外渡航歴
	マールブルグ病				NESID	直ちに	海外渡航歴
	ラッサ熱				NESID	直ちに	海外渡航歴
二類	急性灰白髄炎（ポリオ）	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	結核	○	○	○ ※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要	FAX等	直ちに	
	重症急性呼吸器症候群（SARS）	○	○	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ジフテリア	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	中東呼吸器症候群（MERS）	○	○	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ（H5N1）	○	○	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ（H7N9）	○	○	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
三類	コレラ	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	細菌性赤痢	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	腸管出血性大腸菌感染症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	腸チフス	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	パラチフス	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
四類	Ｅ型肝炎	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･PCR法により遺伝子が検出されなかった場合はその旨を備考欄へ入力
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	Ａ型肝炎	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･PCR法による病原体遺伝子検出した場合の「遺伝子型」が判明していれば備考欄へ入力 (例)IA型、ⅢA型　など
	エキノコックス症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	黄熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	オウム病	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	オムスク出血熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	回帰熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	キャサヌル森林病	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	Ｑ熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	狂犬病	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･予防接種歴の有･無･不明を備考欄へ入力し、接種歴がある場合には、接種日または接種年齢も入力
	コクシジオイデス症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	サル痘	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
四類	ジカウイルス感染症	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･「５　診断時の年齢（0歳は月齢･日齢）」のうち、日齢を備考欄へ入力
	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る）	○	–	○	NESID	直ちに	【海外渡航歴】※**以下、「海外渡航歴」の記載がある疾患については同内容を入力** ①直近30日以内の海外渡航歴の有無を（「海外渡航歴無」又は「海外渡航歴有」）を入力し、有の場合は国名を追加入力 ②日本国内での滞在期間の区分（「長期滞在」又は「一時滞在」）を入力し、一時滞在の場合は帰国予定日を追加入力 ①については、届出様式に「渡航期間」がある疾患については、当該欄に入力し、備考欄への入力は不要
	腎症候性出血熱（HFRS）	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	西部ウマ脳炎	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ダニ媒介脳炎	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	炭疽	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	チクングニア熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	つつが虫病	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･PCR法により病原体遺伝子を検出した場合の「血清型」、抗体検査で判明した場合の血清型と値が判明していれば備考欄へ入力 (例)　Kawasaki、Kuroki　など (例)　ツツガムシカトー IgM　40倍
	デング熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	東部ウマ脳炎	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	鳥インフルエンザ （鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く）	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ニパウイルス感染症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	日本紅斑熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	日本脳炎	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ハンタウイルス肺症候群（HPS）	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	Ｂウイルス病	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	鼻疽	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ブルセラ症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ベネズエラウマ脳炎	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ヘンドラウイルス感染症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	発しんチフス	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ボツリヌス症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	マラリア	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	野兎病	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ライム病	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	リッサウイルス感染症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	リフトバレー熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	類鼻疽	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	レジオネラ症	○	–	○	NESID	直ちに	･海外渡航歴 ･分離･同定により病原体を検出した場合の菌種、血清群が判明していれば備考欄へ入力 (例)Legionella pneumophila 1群
	レプトスピラ症	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
	ロッキー山紅斑熱	○	–	○	NESID	直ちに	海外渡航歴
五類（全数）	アメーバ赤痢	○	–	–	NESID	７日以内	
	ウイルス性肝炎（Ｅ型肝炎及びＡ型肝炎を除く。）	○	–	–	NESID	７日以内	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	薬剤耐性遺伝子型が判明している場合は備考欄へ入力 注：（結果が「＋」についてはすべて入力。「－」のみの場合は備考に「全て陰性」と記載 (例)　IMP-1、EBC　など
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	○	–	–	NESID	７日以内	･「11感染原因･感染経路･感染地域」の③ポリオワクチン接種歴のうち、接種年齢が0歳●か月の場合は、0歳と入力して、備考欄に月齢を記載 例：ポリオワクチン接種歴1回目：3か月、2回目：4か月、3回目：5か月 ･「11感染原因･感染経路･感染地域」の④検査の実施については、備考欄に入力 例：血液（採取：令和3 8月11日）結果：陰性、または血液検体採取なし、呼吸器由来検体(内容:咽頭ぬぐい液)（採取:令和3年8月11日）結果:EV-D68陽性、髄液（採取：令和3 8月11日）結果：陰性、便検査1回目（採取：令和3 8月11日）結果:陰性、便検査2回目（採取：令和3 8月12日）結果：陰性 ･以下の例については、可能な限り備考欄へ入力 例１：急性弛緩性麻痺の症状を認めるが、Campylobacter jejuni が便から検出されており、GBS が疑われる。 例２：数日前から発熱、喘鳴を認め、急激に四肢の麻痺を発症した。 例３：便秘、対光反射の減弱、瞳孔散大から、乳児ボツリヌス症を疑っており、迅速な検査が必要である。 例４：保育所に通園中であるが、同じ保育所に同様の急性弛緩性麻痺症状を認める児がいる。 例５：野生株ポリオ流行国への渡航歴がある友人と数日間を過ごす。友人は発熱、感冒症状を訴えていた。 例６：麻痺発症5日前に、海外で経口生ポリオワクチンを接種した
	急性脳炎 （ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	○	–	–	NESID	７日以内	
	クリプトスポリジウム症	○	–	–	NESID	７日以内	
	クロイツフェルト･ヤコブ病	○	–	–	NESID	７日以内	
五類（全数）	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	･A群：菌種名、emm遺伝子型、発熱性毒素(spe)遺伝子検出(PCR)が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus pyogenes、emm81、speB ･B群：菌種名、血清型が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus agalactiae、血清型Ｖ ･C群およびG群：菌種名、emm遺伝子型が判明している場合は備考欄に入力 (例)Streptococcus dysgalactiae subsp. equisimilis、stC6979
	後天性免疫不全症候群	○	–	○	NESID	７日以内	届出票の以下の項目は備考欄に入力 「6診断時の症状等」 　②診断時のCD4値 　　1）CD4値（　　/μL） 　　2）検査実施日時（　　年　月　日） 「12感染原因･感染経路･感染地域」 　①感染原因･感染経路 　　確定･推定 　　「1性的接触」の「ウ　不明」 　　「3母子感染」の「ア　胎内･出産時」「イ　母乳」 　　「4輸血･血液製剤」の「輸血･血液製剤の種類･使用年月･状況」の記載事項 　②感染地域 　　確定･推定 　　「1日本国内」の都道府県　市町村名 　　「2国外」の国名、詳細地域 「13　感染症のまん延防止及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項」 　②国籍 　　「2その他」の記載事項
	ジアルジア症	○	–	–	NESID	７日以内	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	–	–	FAX等	直ちに	
	侵襲性肺炎球菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	
	水痘（入院例に限る。）	○	–	–	NESID	７日以内	
五類（全数）	先天性風しん症候群	○	–	–	NESID	７日以内	･出生時の母親の年齢を以下の例により入力 例） ③出生時の母親の年齢：30歳 ･ワクチン接種歴について、母子手帳等による確認の有無がわかれば、以下の例により入力 例） 母子手帳等の記録による確認：有 母子手帳等の記録による確認：無
	梅毒	○	–	○	FAX等	７日以内	
	播種性クリプトコックス症	○	–	–	NESID	７日以内	分離･同定により病原体を検出した場合の「菌種」が判明していれば備考欄へ入力 (例) Cryptococcus neoformans
	破傷風	○	–	–	NESID	７日以内	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	–	–	NESID	７日以内	
	百日咳	○	–	–	NESID	７日以内	分離･同定による病原体を検出した場合の「菌種」が判明していれば備考欄へ入力 （例）Bordetella pertussis
	風しん	○	–	–	FAX等	直ちに	
	麻しん	○	–	–	FAX等	直ちに	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	–	–	NESID	７日以内	薬剤耐性遺伝子型が判明している場合は備考欄へ入力 (例)　OXA-51-like、IMP-1　など
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ	○	○	○	NESID	直ちに	
	再興型インフルエンザ	○	○	○	NESID	直ちに	
	新型コロナウイルス感染症 (HER-SYSでの入力を継続)	○	○	○	HER-SYS	直ちに	HER-SYSでの入力を継続し、NESIDには入力しない
	再興型コロナウイルス感染症	○	○	○	NESID	直ちに	